

令和7年度豊見城市こども未来アンケート結果

豊見城市 こども応援課

I. 調査概要

1. 調査の目的

親と子が健やかに暮らすことができる切れ目のない子育て支援施策の充実を図るとともに、豊見城市が抱えている子育て環境の諸課題に取り組み、子育て環境の充実を図ることを目指す「こども改革」を推進するため、子育てに関する現状や施策の重要度などを把握することを目的とする。

2. 調査方法

(1) 調査期間：令和7年10月15日(水)～10月28日(火)

(2) 調査対象：市内在住の0歳から18歳(18歳になって最初の3月31日を迎える)までの子どもとその保護者

(3) 抽出方法：①住民基本台帳から階層(学年)毎に139件または138件を無作為に抽出し、合計を2,500件とする。

②同世帯で抽出しないよう世帯の重複を除いた後、年齢ごとに抽出を行う。

(4) 調査方法：市で利用しているフォーム(LoGoフォーム)において設問を作成し、そのページのQRコードを印字したハガキを対象者へ送付し、Webによる回収を行う。

3. 回収結果

配付数	返還(返戻)数	有効配付数	回収数	回収率
2,500件	2件	2,498件	838件	33.5%

4. 調査内容

回答 タイプ	質問 No.	質問内容
入力	Q1	ハガキの表面にある「アンケート番号(5桁)」を入力してください。
選択	Q2	「ハガキのあて名のお子さん」のお住いの地域(中学校区)を教えてください。
選択	Q3	「ハガキのあて名のお子さん」の学年で当てはまるものを教えてください。
選択	Q4	「ハガキのあて名のお子さん」を含めて「生計を共にしている方」全員の人数を教えてください。※一時的に別居している場合も含む
選択	Q5	Q4のうち、子ども(高校3年生の年代以下)の人数を教えてください。
選択	Q6	Q4の家族形態を教えてください。
選択	Q7	Q4で対象とした全員の年間手取り額(所得税・住民税などの税金や社会保険料の額を差し引いた額)の合計はおおよそどのくらいですか。※一時的に別居している者も含む、手当関連(児童手当、児童扶養手当、生活保護等)は含めない
選択	Q8	豊見城市の子育て環境に満足していますか。
選択	Q8①	Q8の主な理由を教えてください。(最大2つまで選択可)
入力	Q8②	Q8①で選択した理由について、よろしければ詳しく教えてください。(任意入力)

選択	Q9	「ハガキのあて名のお子さん」の育児において、悩みや不安、気になることはありますか。（最も当てはまるものを最大3つまで選択）
選択	Q10	より良い子育て環境の促進・実現のために、豊見城市に求めるものはどれですか。（最も当てはまるものを最大3つまで選択）
※以下、Q10①～⑨については、Q10にて選択した項目のみ回答		
選択	Q10①	学校教育の充実（小・中学校、高等学校内の教育）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10②	学校外教育の充実（市内イベント・市委託事業など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10③	学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10④	こどもに係る費用の負担軽減（医療費、保育料、給食費、学校教材の負担軽減、給付金支給など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10⑤	防犯・防災・こどもの安全に関する取組（歩道・街灯の整備、各施設や公園の整備・防犯対策、安全教育の充実など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10⑥	児童福祉に関する取組（児童館や子育て支援センター等こどもの居場所の充実、サポートが必要な世帯への支援、各業務の連携など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10⑦	地域のつながりに関する取組（地域内でのこどもを守り育てる取組、地域連携、地域文化の継承など）について、必要だと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10⑧	親の就労に関する取組（就労関連セミナーの開催、資格取得にかかる補助、延長保育や一時保育利用に関する取組など）について、必要だと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q10⑨	子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善について、必要だと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）
選択	Q11	【あて名のお子さんに確認してご回答ください】あなたは日々の生活のなかで、特に頑張っていることや大事にしていることはなんですか。（最も当てはまるものを最大3つまで選択）
選択	Q12	【あて名のお子さんに確認してご回答ください】こういうことができたらいいな、あったらいいなと思うことがあれば教えてください。（最も当てはまるものを最大3つまで選択）
入力	Q13	【あて名のお子さんに確認してご回答ください】前の質問で選択した内容の詳細や、住んでいる豊見城市について思うこと・伝えたいことなどあれば教えてください。 ※任意入力、自由記述

Ⅱ. アンケート集計結果

1.) アンケート回答者の基本属性について

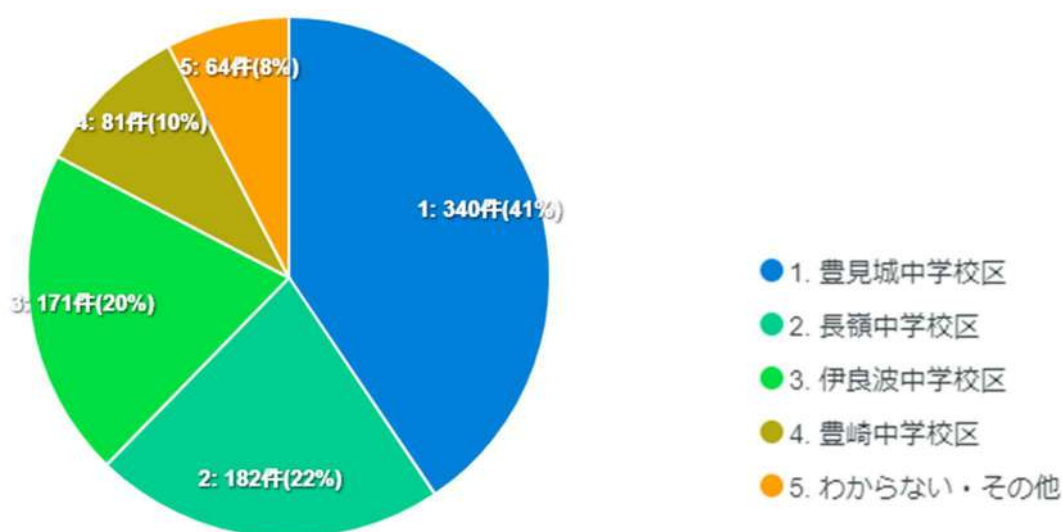
Q2～Q7 は、居住地域（中学校区別）、子どもの年齢、同一生計人数および子どもの人数、家族形態、年間手取り額についての問いとなっている。

【Q2～Q7 回答分析結果】

- 回答者の居住地域について、豊見城中学校区が 41%（340 件）と最も多くなっているが、各中学校の生徒数から考えると、豊崎中学校区の回答者割合が低く、他校区においては大きな差はない。※1
- 「0 歳児クラス相当」と「1 歳児クラス相当」の回答割合はどちらも 7%（61 件）で最も多い。
- 表 1 より、年齢毎平均回答人数から比較すると、未就学児の回答割合が高い。
- 同一生計維持者は、「4 人」が 34%（287 件）で最も多く、次いで「3 人」が 31%（262 件）。これら 2 つの層を合わせると、全体の約 65%。
- 子ども（18 歳未満）の人数は、「1 人」が 42%（353 件）で最も多く、次いで「2 人」が 36%（302 件）。これら 2 つの層を合わせると、全体の約 8 割。
- 家族形態では、「ふたり親世帯・2 世代（両親＋子ども）」が 82%（685 件）で大半を占めている。3 世代世帯（祖父母を含む世帯）の割合は全体的に低い、ふたり親世帯の中で 3 世代同居の割合が 4% であることに對し、ひとり親世帯では 15% と高い傾向にある。
- これらの結果を踏まえると、本アンケート回答において、ふたり親世帯で子どもが 1 人または 2 人の家族構成が最も多いと考えられる。
- 世帯の手取り額は、「400～500 万円未満」が 20%（166 件）と最も多く、300～600 万円未満で全体の約半数を占めている。

※1 R7 年 4 月 1 日時点の各中学校生徒数は、豊見城中学校 980 名、長嶺中学校 574 名、伊良波中学校 530 名、豊崎中学校 371 名となっており、各中学校生徒数からみた回答割合は、順番に 35%、32%、32%、22%となっている。

Q2. 「ハガキのあて名のお子さん」のお住いの地域（中学校区）を教えてください。



Q3. 「ハガキのあて名のお子さん」の学年で当てはまるものを教えてください。

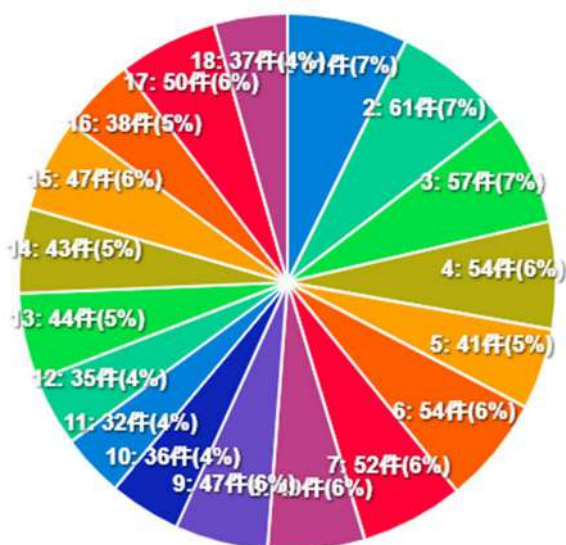


表1- Q3 年齢(教育段階)別 回答割合		
	回答人数	平均比
未就学(0～5歳児)	328	1.2
小学生(小1～小6)	251	0.9
中学生(中1～中3)	134	1.0
高校生(高1～高3)	125	0.9
合計	838	
平均	46.6人/年齢毎	

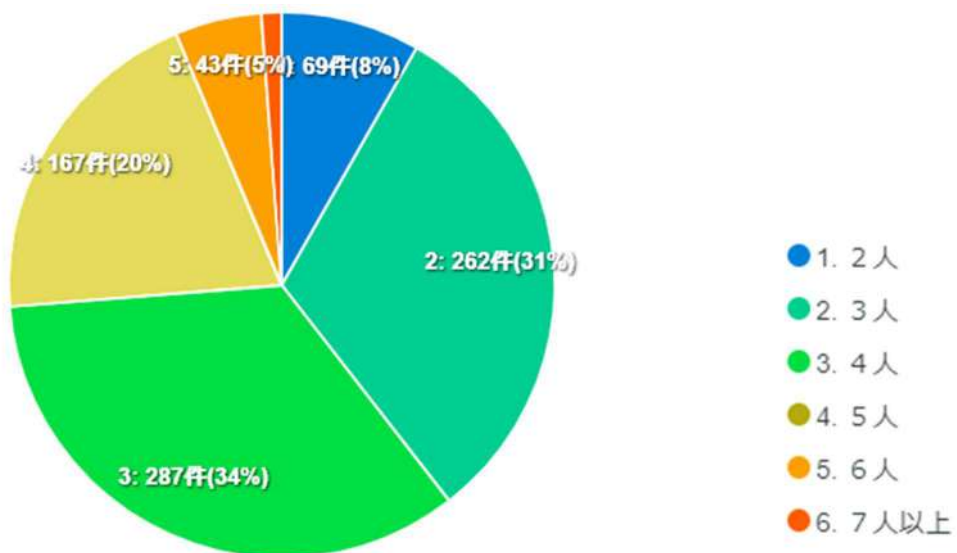
- 1. 0歳児クラス相当（令和6年4月2日～令和7年4月1日生まれ）
- 2. 1歳児クラス相当（令和5年4月2日～令和6年4月1日生まれ）
- 3. 2歳児クラス相当（令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ）
- 4. 3歳児クラス相当（令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれ）
- 5. 4歳児クラス相当（令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ）
- 6. 5歳児クラス相当（平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ）

- 7. 小学1年生（平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ）
- 8. 小学2年生（平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ）
- 9. 小学3年生（平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ）
- 10. 小学4年生（平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ）
- 11. 小学5年生（平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ）
- 12. 小学6年生（平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれ）

- 13. 中学1年生（平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ）
- 14. 中学2年生（平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれ）
- 15. 中学3年生（平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれ）
- 16. 高校1年生相当（平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ）
- 17. 高校2年生相当（平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ）
- 18. 高校3年生相当（平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ）

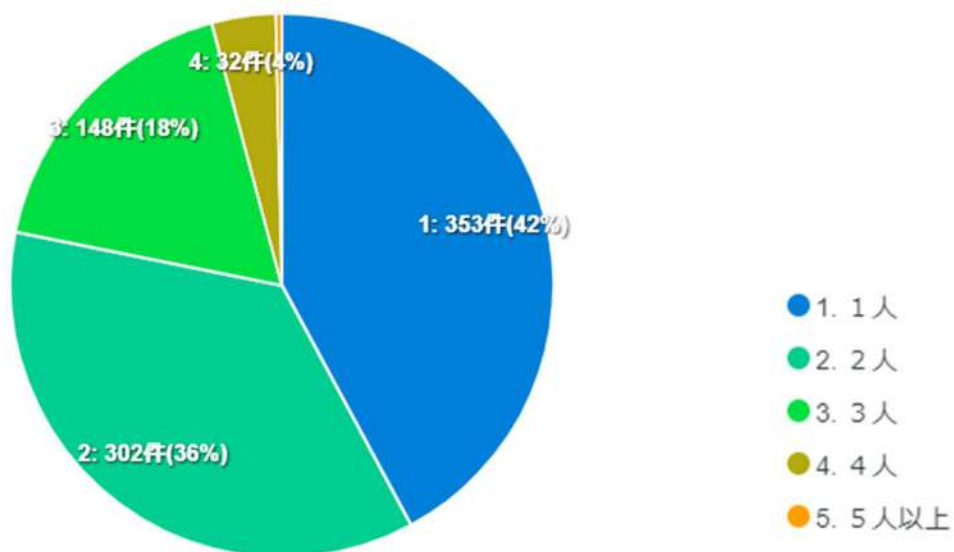
	選択項目	回答人数	割合	各教育段階別合計
1	0歳児クラス相当	61	7%	328人 (39%)
2	1歳児クラス相当	61	7%	
3	2歳児クラス相当	57	7%	
4	3歳児クラス相当	54	6%	
5	4歳児クラス相当	41	5%	
6	5歳児クラス相当	54	6%	
7	小学1年生	52	6%	251人 (30%)
8	小学2年生	49	6%	
9	小学3年生	47	6%	
10	小学4年生	36	4%	
11	小学5年生	32	4%	
12	小学6年生	35	4%	
13	中学1年生	44	5%	134人 (16%)
14	中学2年生	43	5%	
15	中学3年生	47	6%	
16	高校1年生相当	38	5%	125人 (15%)
17	高校2年生相当	50	6%	
18	高校3年生相当	37	4%	
	合計	838	100%	

Q4. 「ハガキのあて名のお子さん」を含めて現在「生計を共にしている方」全員の人数を教えてください。



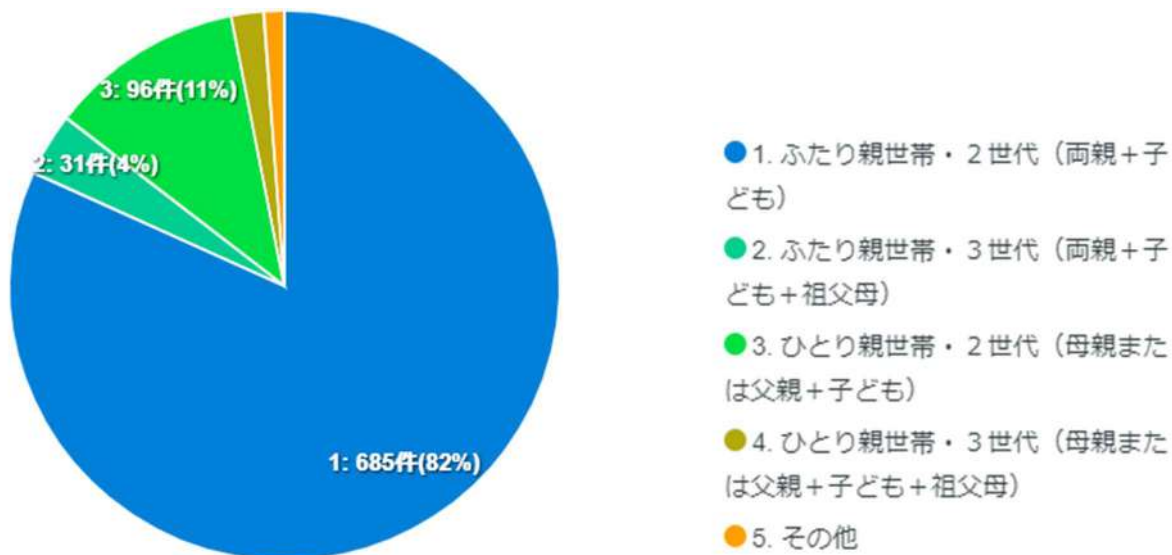
※6. 「7人以上」は10件（1%）

Q5. Q4 のうち、子ども（高校 3 年生の年代以下）の人数を教えてください。



※5. 「5 人以上」は 3 件（1%未満）

Q6. Q4 の家族形態を教えてください。



※4. 「ひとり親世帯・3 世代（母親または父親+子ども+祖父母）」は 16 件（2%）。

※5. 「その他」は 10 件（1%）で、祖父母+子などの回答があった。

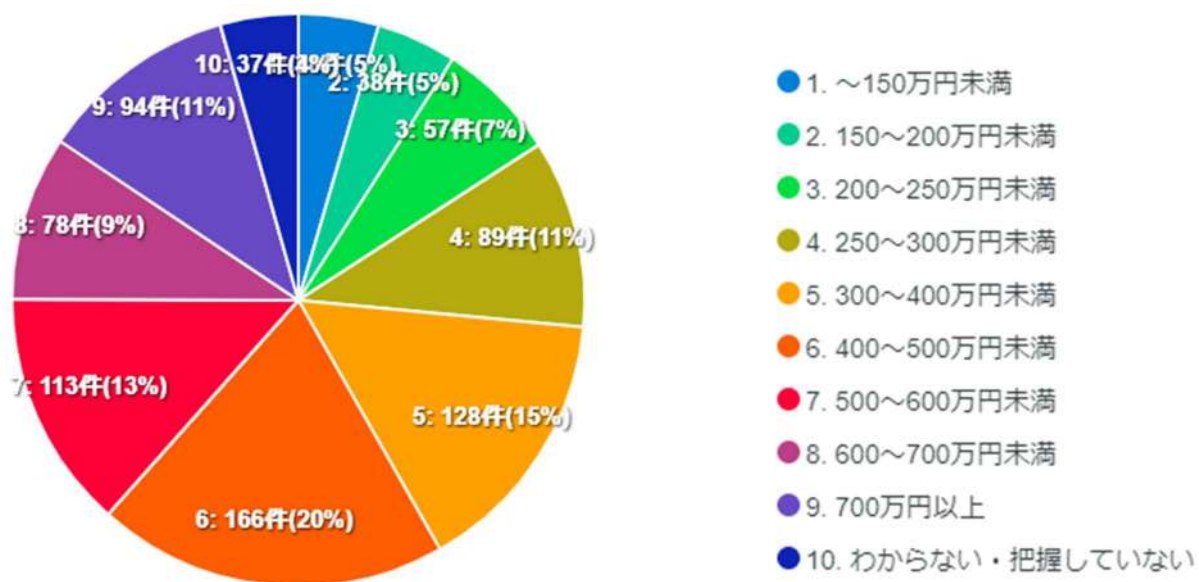
※ふたり親世帯数（716 件）は回答者全体の 86%であり、その中のふたり親世帯・3 世代（31 件）の割合は 4%。

※ひとり親世帯数（106 件）は回答者全体の 13%であり、その中のひとり親世帯・3 世代（16 件）の割合は 15%。

Q7. Q4 で対象とした全員の年間手取り額（所得税・住民税などの税金や社会保険料の額を差し引いた額）の合計はおおよそどのくらいですか。

※一時的に別居している者も含む

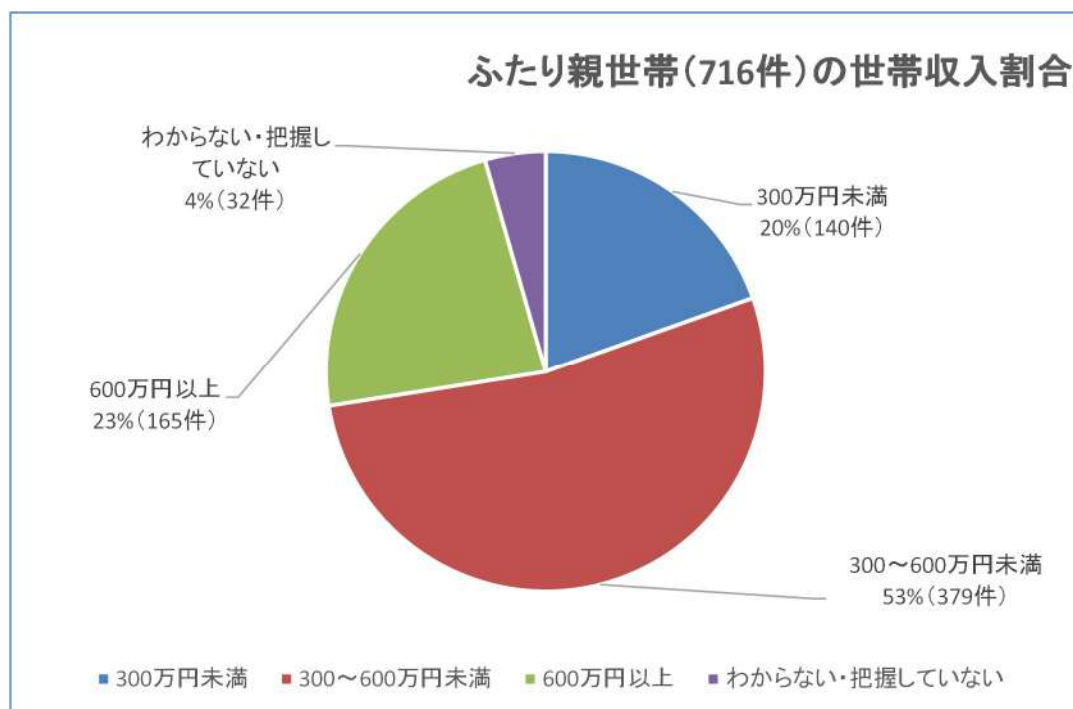
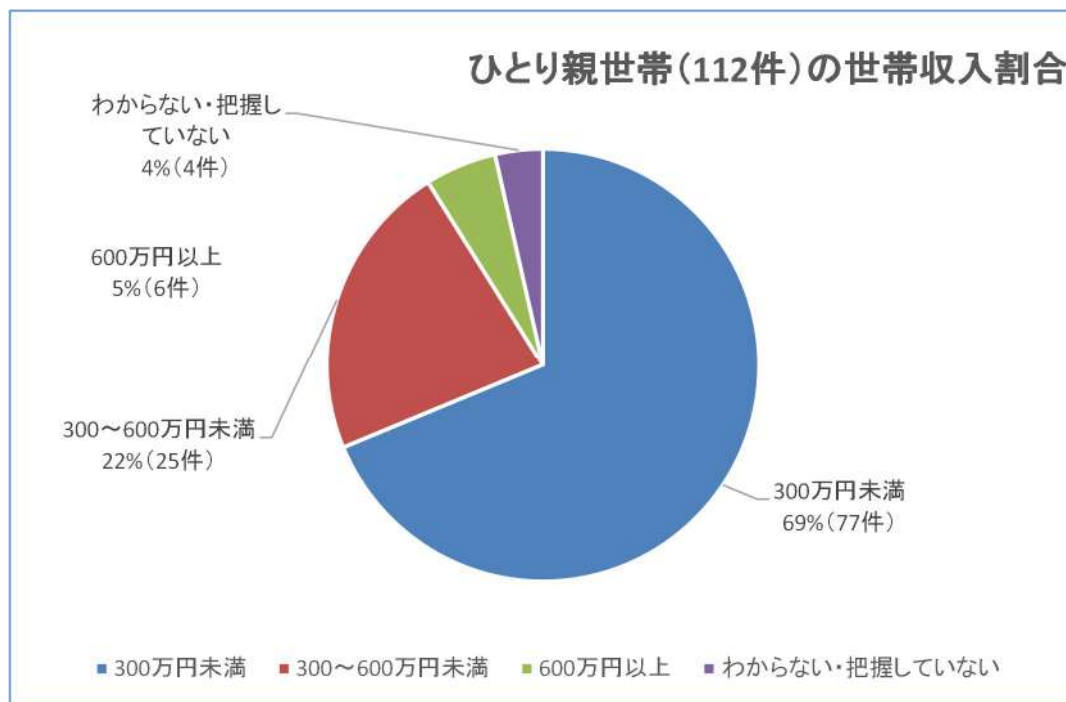
※手当関連（児童手当、児童扶養手当、生活保護等は含めない）



	選択項目	回答人数	割合
1	～150万円未満	38	5%
2	150～200万円未満	38	5%
3	200～250万円未満	57	7%
4	250～300万円未満	89	11%
5	300～400万円未満	128	15%
6	400～500万円未満	166	20%
7	500～600万円未満	113	13%
8	600～700万円未満	78	9%
9	700万以上	94	11%
10	わからない・把握していない	37	4%
	合計	838	100%

クロス集計① ひとり親・ふたり親の世帯別収入比較

- Q7 の世帯収入について、ひとり親世帯とふたり親世帯別で収入比較を行ってみると、ひとり親世帯では約 7 割が 300 万円未満と回答しており、その割合はふたり親世帯の約 3.5 倍となっている。



2.) 保護者への設問

Q8～Q10 では、市に対する子育て環境の満足度、育児における悩みや不安、本市に求める子育て関連施策についての問いとなっている。

【Q8～Q10回答分析結果】

- 本市の子育て環境に関する評価は、「満足」と「やや満足」の合計が45%（376件）、「普通」が32%（266件）、そして「やや不満」と「不満」の合計が23%（196件）。なお、表2に示すとおり、R5年度およびR6年度の回答結果と比較しても、この3年間で大きな差は見られない。
- 育児に関する悩みや不安、気になることとして、「経済負担に関すること（勉学費用、習い事費用、食費、医療費など、こどもに係る費用全般）」が49%（411件）と最も多く、回答者の約半数がこの項目を選択している。次いで、「進路や将来に関すること（進学校や進路の選択、受験、将来の職業など）」が30%（252件）となっている。
- 本市に求める子育て関連施策として、「こどもに係る費用の負担軽減（医療費、保育料、給食費、学校教材の負担軽減、給付金支給など）」が68%（571件）と最も多く、回答者の約7割が選択している。次いで教育施策※2が41%（344件）となっている。なお、表3に示すとおり、R5年度およびR6年度の回答結果と比較しても、この3年間で上位項目に大きな変動は見られない。

※2「学校教育の充実（小・中学校、高等学校内の教育）の31%（258件）と「学校外教育の充実（市内イベント・市委託事業など）」の10%（86件）を合わせた結果を指している。

Q8. 豊見城市の子育て環境に満足していますか。

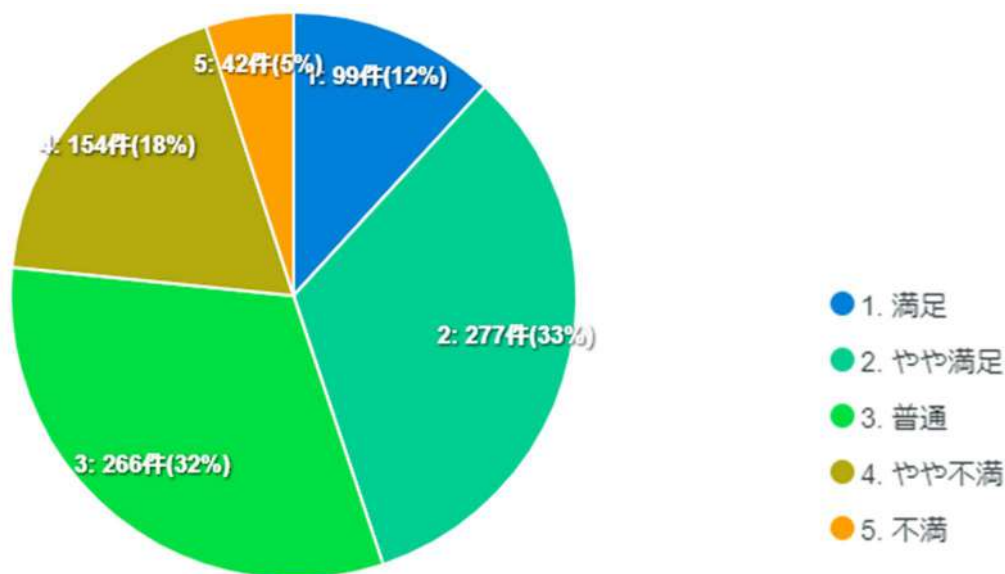


表2 - Q8 【豊見城市子育て環境満足度 回答比較（R5 - R7 年度）】

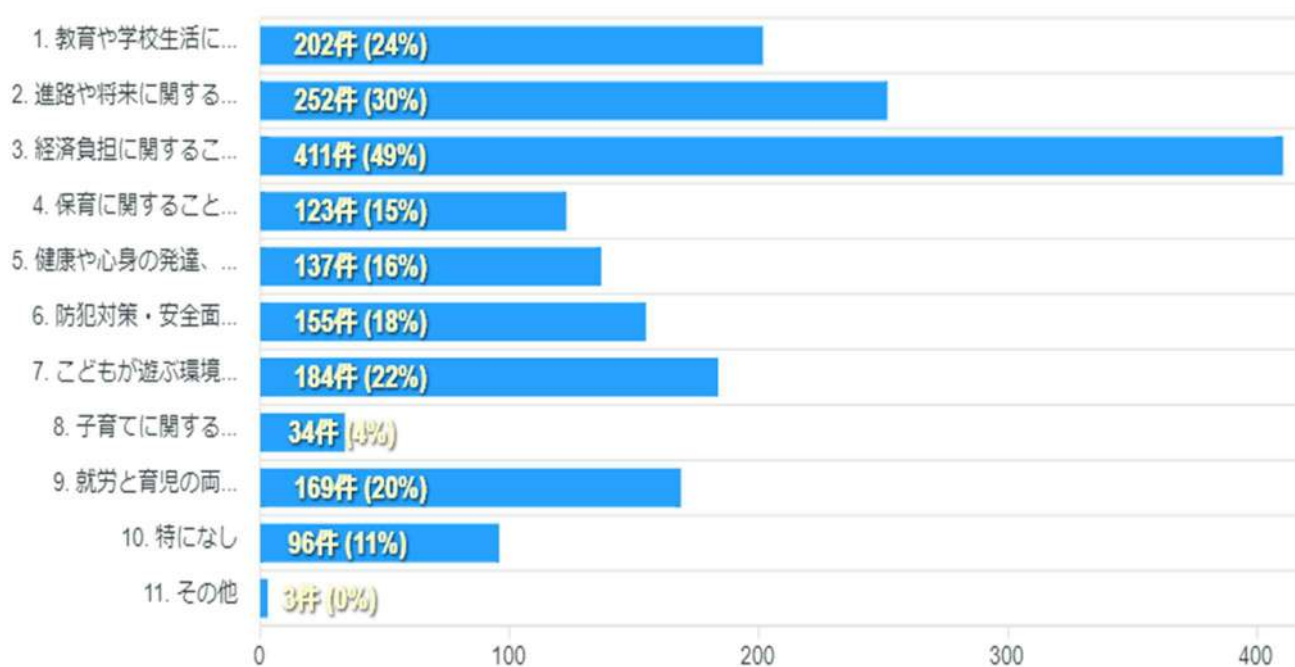
実施年・回収数	満足+やや満足 ※うち()は満足の数値		やや不満+不満 ※うち()は不満の数値		普通	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
R5・644件	280件(59件)	43%(9%)	142件(47件)	22%(7%)	221件	34%
R6・715件	322件(73件)	45%(10%)	146件(40件)	20%(6%)	246件	34%
R7・838件	376件(99件)	45%(12%)	196件(42件)	23%(5%)	266件	32%

Q8①. Q8 の主な理由を教えてください。（最大 2 つまで選択可）

※Q8①（豊見城市子育て環境満足度の選択理由）については、後頁のクロス集計③に結果を掲載。

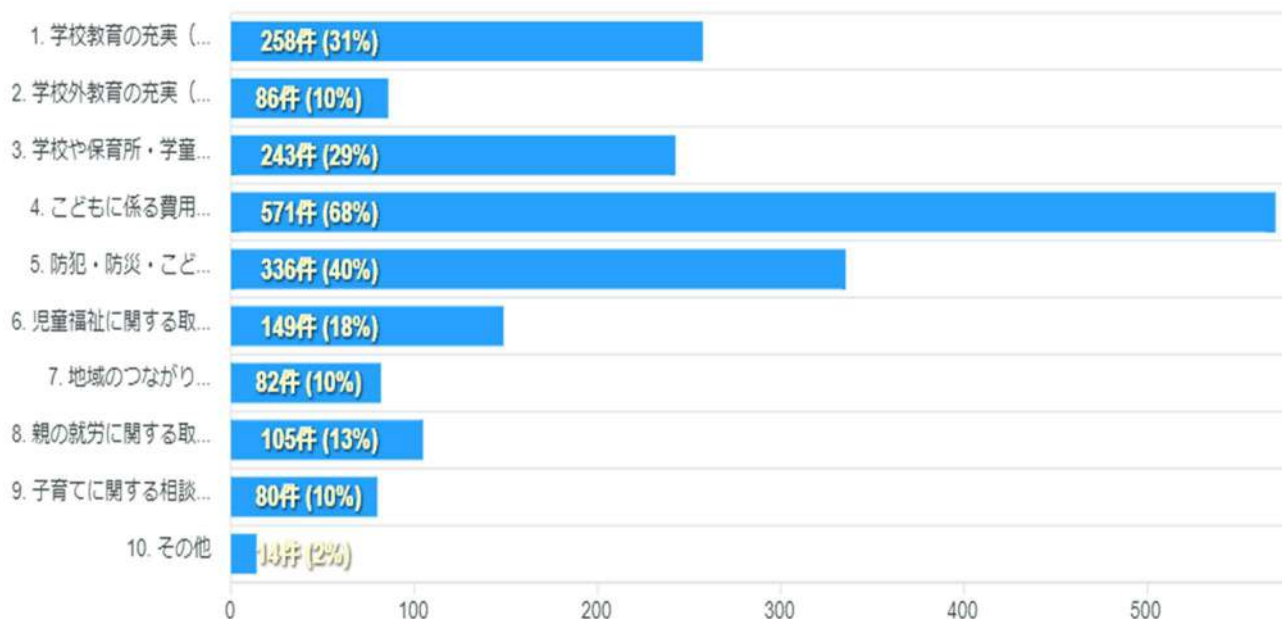
Q9. 「ハガキのあて名のお子さん」の育児において、悩みや不安、気になることはありますか。

（最も当てはまるものを、最大 3 つまで選択）



	選択項目	順位	回答数 (1人最大2つまで)	回答人数(838人) に対する割合
1	教育や学校生活に関すること(勉強、集団生活、子ども同士や先生たちとのコミュニケーション、部活動など)	3	202	24%
2	進路や将来に関すること(進学校や進路の選択、受験、将来の職業など)	2	252	30%
3	経済負担に関すること(勉強費用、習い事費用、食費、医療費など、子どもに係る費用全般)	1	411	49%
4	保育に関すること(保育所・子ども園・学童等の施設利用に関することなど)	8	123	15%
5	健康や心身の発達、医療に関すること(食事、子どもの性格・癖、発育・発達、病気や障がいなど)	7	137	16%
6	防犯対策・安全面に関すること(通学路の整備や公園等利用時の安全面など)	6	155	18%
7	子どもが遊ぶ環境や場所に関すること(公園や児童館など遊び場の不足、自然や文化に触れる場所・機会の減少など)	4	184	22%
8	子育てに関すること(育児への漠然とした不安、親子関係、頼れる人やサポートの不足、相談できる場がない・わからないなど)	10	34	4%
9	就労と育児の両立に関すること(就労時間・勤務体制において負担が大きい、希望のキャリア形成との両立が難しいなど)	5	169	20%
10	特になし	9	96	11%
11	その他		3	1%以下
	合計		1766	

Q10. より良い子育て環境の促進・実現のために、豊見城市に求めるものはどれですか。（最も当てはまるものを、最大3つまで選択）



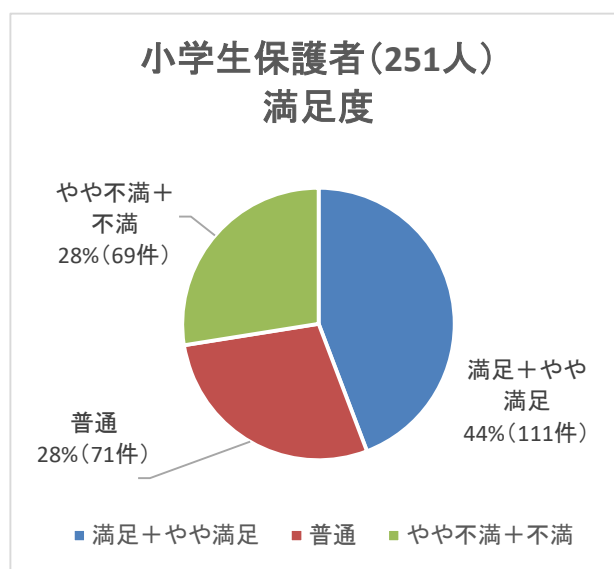
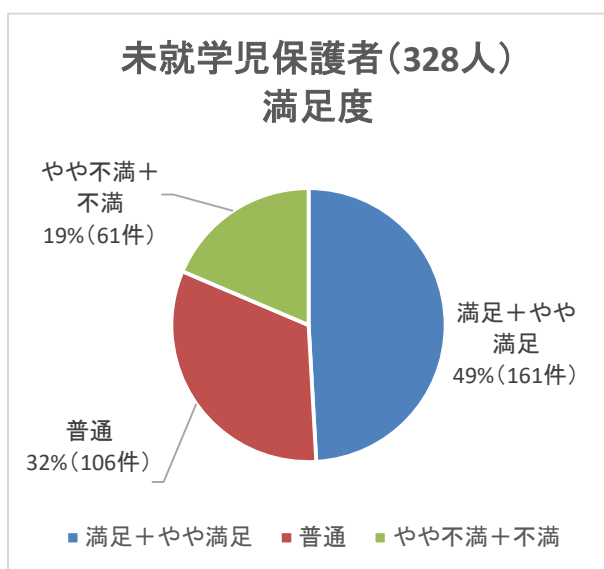
	選択項目	順位	回答数 (1人最大3つまで)	回答人数(838人) に対する割合	項目別(内訳) 回答数 / 割合	
1	学校教育の充実(小・中学校、高等学校内の教育)	2	344	41%	258	31%
2	学校外教育の充実(市内イベント・市委託事業など)				86	10%
3	学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善	4	243	29%		
4	こどもに係る費用の負担軽減(医療費、保育料、給食費、学校教材の負担軽減、給付金支給など)	1	571	68%		
5	防犯・防災・こどもの安全に関する取組(歩道・街灯の整備、各施設や公園の整備・防犯対策、安全教育の充実など)	3	336	40%		
6	児童福祉に関する取組(児童館や子育て支援センター等こどもの居場所の充実、サポートが必要な世帯への支援、各業務の連携など)	5	149	18%		
7	地域のつながりに関する取組(地域内でのこどもを守り育てる取組、地域連携、地域文化の継承など)	7	82	10%		
8	親の就労に関する取組(就労関連セミナーの開催、資格取得にかかる補助、延長保育や一時保育利用に関する取組など)	6	105	13%		
9	子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善	8	80	10%		
10	その他		14	2%		
		回答数 合計	1924			

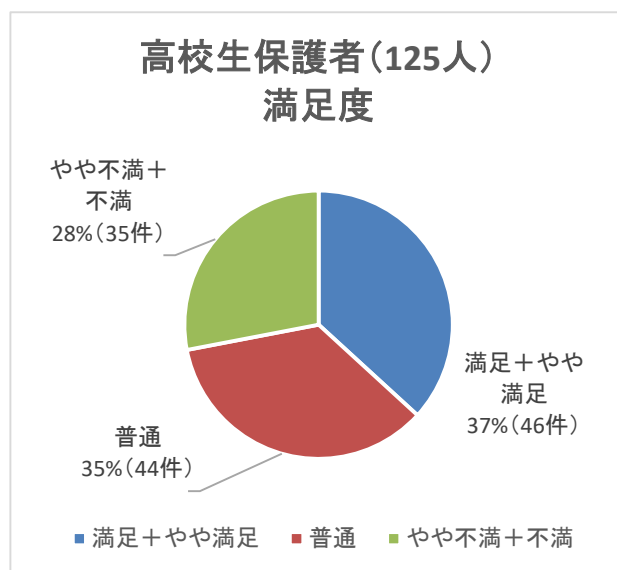
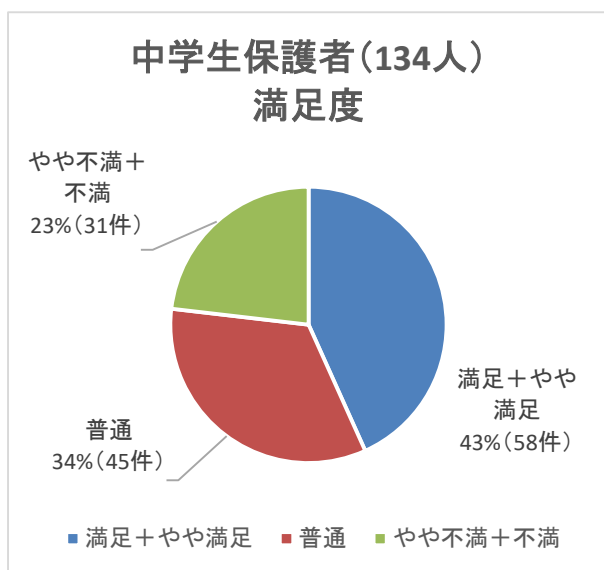
表3 - Q10 【豊見城市に求める子育て関連施策 回答比較（R5 - R7 年度）】

実施年・回収数	教育（※R7年度は学校教育と学校外教育の合算）		経済負担の軽減（※R7年度はこどもに係る費用の負担軽減）		保育（※R7年度は学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善）		防犯・防災、子どもの安全（※R7年度は防災・防災・こどもの安全に関する取組）	
	順位(回答数)	割合	順位(回答数)	割合	順位(回答数)	割合	順位(回答数)	割合
R5・644件	1位(409件)	64%	2位(362件)	56%	3位(249件)	39%	4位(237件)	37%
R6・715件	2位(391件)	55%	1位(569件)	80%	4位(225件)	32%	3位(288件)	40%
R7・838件	2位(344件)	41%	1位(571件)	68%	4位(243件)	29%	3位(336件)	40%

クロス集計② 年齢（教育段階）別 満足度比較

- ・Q8 の本市における子育て環境満足度について、年齢（教育段階）別に見てみると、「満足」または「やや満足」と回答した割合は未就学児で最も高く、その割合は約半数を占めている。
- ・高校生の「満足」または「やや満足」と回答した割合は比較的少なく、4割を切る結果となった。
- ・どの層においても、「満足」または「やや満足」と回答した割合が最も高くなっている。





クロス集計③ 満足度別 理由比較 (表4・5参照)

- ・Q8①の本市の子育て環境に対する満足度の理由について、「満足」または「やや満足」の回答理由として「子育て世帯が住みやすい環境（通勤・通学のアクセス、商業施設や病院などの生活利便性、公園設備など）」が25%（92件）と最も多く、自由記述では学校・病院・大型商業施設等が身近にある利便性や通勤アクセスの良さなどが挙げられた。また、教育事業に関する評価や、医療費助成・給食費の負担軽減、子育て支援センター等の育児支援に関する記述も多く見られた。（※詳細は別紙の自由記述回答参照。）
- ・一方、「満足」または「やや満足」の回答理由として「防犯対策・安全面（歩道・街灯整備、不審者・災害関連通知、防災訓練、防犯パトロール等地域での取組など）」は4%（22件）とかなり少なく、自由記述でも同項目に関する課題の声が多く挙げられている。（※詳細は別紙の自由記述回答参照。）
- ・「やや不満」または「不満」の回答理由として「経済負担に関すること（給食費負担軽減事業、検定や派遣費用に係る補助金、各種手当や就学援助等給付関連、医療費助成など）」が51%（92件）と最も多く、自由記述では保育園の入所待ちにより仕事ができないといった声や、保育料の負担を理由に経済的に苦しいといった記述も多く見られた。（※詳細は別紙の自由記述回答参照。）
- ・一方、「やや不満」または「不満」の回答理由として「教育に関すること（学校環境の整備、学習支援事業、文化・スポーツ事業、国際交流事業など）」は8%（24件）と比較的少ない結果となっている。

表4 - Q8① 満足度別 各項目回答数

	教育に関すること(学校環境の整備、学習支援事業、文化・スポーツ事業、国際交流事業など)	経済負担に関すること(給食費負担軽減事業、検定や派遣費用に係る補助金、各種手当や就学援助等給付関連、医療費助成など)	健康や保育に関すること(健診・予防接種・食育に関すること、保育・こども園・学童の入所やその環境など)	防犯対策・安全面(歩道・街灯整備、不審者・災害関連通知、防災訓練、防犯パトロール等地域での取組など)	子育て支援に関すること(子育てに関する相談・支援、児童館や子育て支援センター施設利用など)	子育て世帯が住みやすい環境(通勤・通学のアクセス、商業施設や病院などの生活利便性、公園設備など)	特に理由はない	横行(満足度)回答数合計
満足+やや満足	85	103	117	22	90	159	24	600
やや不満+不満	24	124	53	41	38	37	1	318
普通	33	116	64	32	41	66	55	407
縦列(各選択項目)合計	142	343	234	95	169	262	80	1325

表5 - Q8① 満足度別 各項目回答数からみた割合

	教育に関すること(学校環境の整備、学習支援事業、文化・スポーツ事業、国際交流事業など)	経済負担に関すること(給食費負担軽減事業、検定や派遣費用に係る補助金、各種手当や就学援助等給付関連、医療費助成など)	健康や保育に関すること(健診・予防接種・食育に関すること、保育・こども園・学童の入所やその環境など)	防犯対策・安全面(歩道・街灯整備、不審者・災害関連通知、防災訓練、防犯パトロール等地域での取組など)	子育て支援に関すること(子育てに関する相談・支援、児童館や子育て支援センター施設利用など)	子育て世帯が住みやすい環境(通勤・通学のアクセス、商業施設や病院などの生活利便性、公園設備など)	特に理由はない	合計
満足+やや満足	14%	17%	20%	4%	15%	27%	4%	100%
やや不満+不満	8%	39%	17%	13%	12%	12%	0%	100%
普通	8%	29%	16%	8%	10%	16%	14%	100%

クロス集計④ 年齢(教育段階)別 豊見城市に求める子育て関連施策(表6・7参照)

- ・本市に求める子育て関連施策について、各教育段階(未就学児、小学生、中学生、高校生)別で見ると、表5にあるように黄色で示された箇所の割合が高くなっている。例えば「学校教育の充実」についての項目を見ると、小・中学生の回答者割合が大きい。また「学校や保育所・学童などの受入体制等」に関する項目では、未就学児の回答者割合が大きくなっていることから、保育所の受入体制等が特に求められていると考えられる。

- ・「防犯・防災・子どもの安全に関する取組」の項目を見ると、小学生の回答者の半分以上が選択した結果となった。次の各項目別詳細分析の結果とも照らし合わせると、登下校の際の歩道整備や、教育施設外の遊び場（公園など）における防犯対策などが特に求められていると考えられる。
- ・「こどもに係る費用の負担軽減」についての項目では、どの年齢層からも最も高い割合となっているが、特に未就学児と高校生では回答者の7割以上が選択した結果となっている。また未就学児においては、「親の就労に関する取組」の項目の割合も高くなっており、次頁以降にある市に求める施策（各項目別詳細分析）の結果とも照らし合わせると、育児休暇や子の看護休暇などを安心して利用しながら、安定した収入が得られる職場環境や仕組み作りが特に求められていると考えられる。高校生については、義務教育を終え、学費にかかる費用等の負担増の影響が考えられる。
- ・「学校外教育の充実」についての項目では、高校生の割合は少ない結果となった。（※表7 青色箇所）

表6 - Q10 【各教育段階別 各項目回答数】

	回答人数	学校教育の充実(小・中学校、高等学校内の教育)	学校外教育の充実(市内イベント・市委託事業など)	学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善	こどもに係る費用の負担軽減	防犯・防災・こどもの安全に関する取組	児童福祉に関する取組	地域のつながりに関する取組	親の就労に関する取組	子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善	その他
未就学児	328	70	29	144	235	121	69	26	58	36	5
小学生	251	93	31	62	152	125	49	28	26	22	4
中学生	134	58	19	19	93	46	17	11	10	11	0
高校生	125	37	7	18	91	44	14	17	11	11	5

表7 - Q10 【各教育段階別 回答人数に対する回答割合】

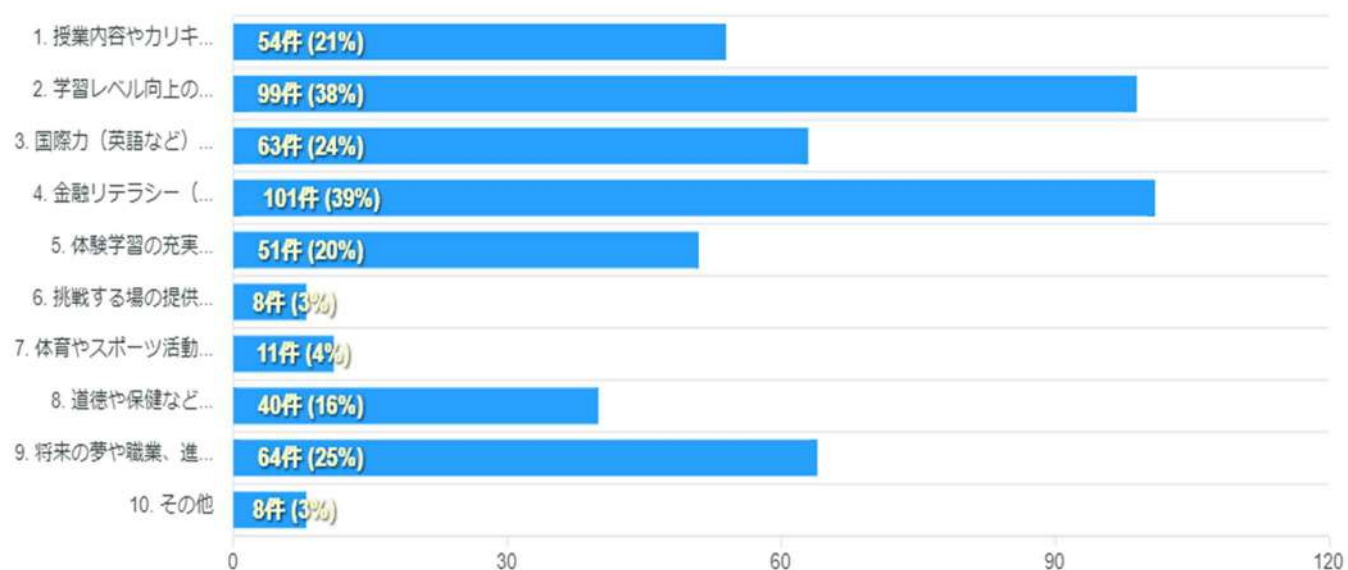
	回答人数	学校教育の充実(小・中学校、高等学校内の教育)	学校外教育の充実(市内イベント・市委託事業など)	学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善	こどもに係る費用の負担軽減	防犯・防災・こどもの安全に関する取組	児童福祉に関する取組	地域のつながりに関する取組	親の就労に関する取組	子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善	その他
未就学児	328	21%	9%	44%	72%	37%	21%	8%	18%	11%	2%
小学生	251	37%	12%	25%	61%	50%	20%	11%	10%	9%	2%
中学生	134	43%	14%	14%	69%	34%	13%	8%	7%	8%	0%
高校生	125	30%	6%	14%	73%	35%	11%	14%	9%	9%	4%

～ 市に求める施策（各項目別詳細分析）～

【Q10①・②. 学校教育・学校外教育の充実に係る回答分析結果】

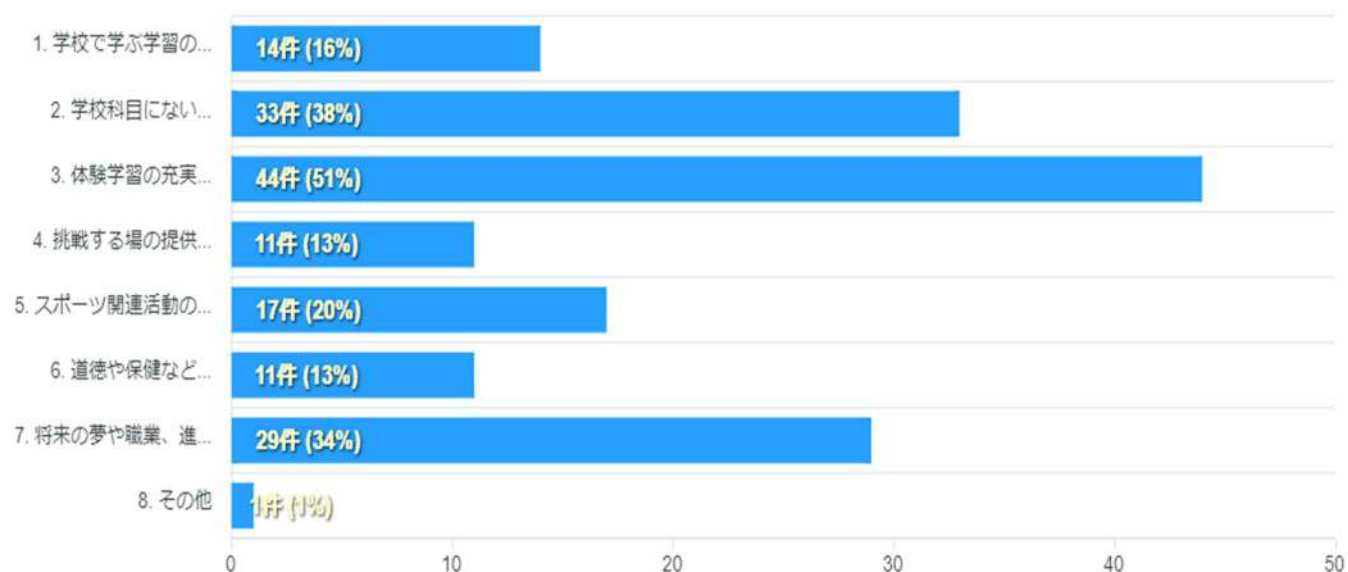
- ・「学校教育の充実（小・中学校、高等学校内の教育）」を選択した回答者層では、「金融リテラシー（お金に関する知識や情報、判断力）を学ぶ取組」が39%（101件）で最も多く、次いで「学習レベル向上の取組（学習の定着・底上げ、検定取得や受験対策講座など）」が38%（99件）となり、ほぼ同率の結果となっている。
- ・さらに「将来の夢や職業、進路について学び考える取組」が25%（64件）、「国際力（英語など）を高める学習の充実」が24%（63件）と続く結果となっている。
- ・「学校外教育の充実（市内イベント・市委託事業など）」を選択した回答者層では、「体験学習の充実（自然や文化と触れ合う学習、講演会や鑑賞会の実施など）」が51%（44件）で最も多く、次いで「学校科目にない力の向上を目指す事業（考える力やプレゼン力、コミュニケーション力などを伸ばす人財育成など）」が38%（33件）、「将来の夢や職業、進路について学び考える取組」が34%（29件）となっている。
- ・学校教育の充実（小・中学校、高等学校内の教育）を選択した回答数は、学校外教育の充実（市内イベント・市委託事業など）を選択した回答数の3倍となっており、学校教育の充実がより重要視されている結果となっている。

Q10①. 学校教育の充実（小・中学校、高等学校内の教育）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）



	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(258人) に対する割合
1	授業内容やカリキュラムの工夫(地域の特色や実態に合わせた学習内容、適切な指導スケジュールの作成など)	5	54	21%
2	学習レベル向上の取組(学習の定着・底上げ、検定取得や受験対策講座など)	2	99	38%
3	国際力(英語など)を高める学習の充実	4	63	24%
4	金融リテラシー(お金に関する知識や情報、判断力)を学ぶ取組	1	101	39%
5	体験学習の充実(自然や文化と触れ合う学習、講演会や鑑賞会の実施など)	6	51	20%
6	挑戦する場の提供(意見発表会や学内コンテスト等の開催など)	9	8	3%
7	体育やスポーツ活動の充実(体育の授業内容の工夫、部活動の充実など)	8	11	4%
8	道徳や保健など自身の心や身体、周りとの関わり方について学ぶ取組	7	40	16%
9	将来の夢や職業、進路について学び考える取組	3	64	25%
10	その他		8	3%
		回答合計	499	

Q10②. 学校外教育の充実（市内イベント・市委託事業など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）



	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(86人) に対する割合
1	学校で学ぶ学習の補助事業(テストや受験対策の補助講座など)	5	14	16%
2	学校科目にない力の向上を目指す事業(考える力やプレゼン力、コミュニケーション力などを伸ばす人財育成など)	2	33	38%
3	体験学習の充実(自然や文化と触れ合う学習、講演会や鑑賞会の実施など)	1	44	51%
4	挑戦する場の提供(市内コンテストや県外派遣イベント等の開催など)	6	11	13%
5	スポーツ関連活動の充実(市内スポーツ関連イベントの誘致など)	4	17	20%
6	道徳や保健など自身の心や身体、周りとの関わり方について学ぶ取組	6	11	13%
7	将来の夢や職業、進路について学び考える取組	3	29	34%
8	その他		1	1%
		回答合計	160	

【Q10①・②.学校教育・学校外教育の充実 回答合算分析結果】

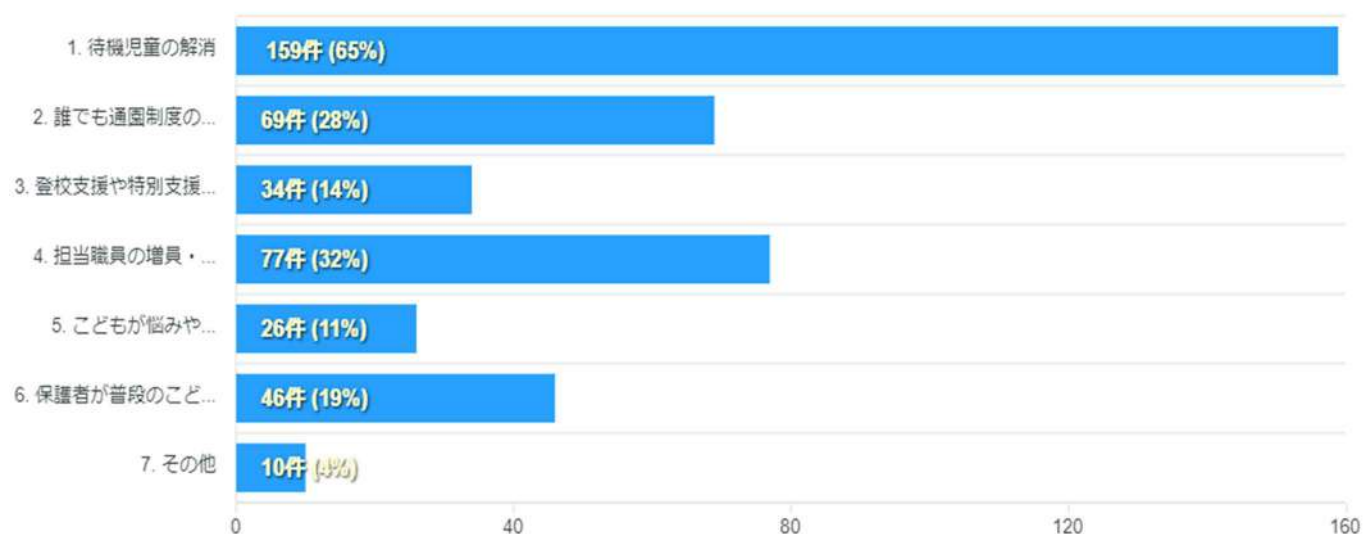
- ・学校教育と学校外教育の共通項目の回答を合算し、項目別に順位を付けた結果、3 位が「体験学習の充実（自然や文化と触れ合う学習、講演会や鑑賞会の実施など）」で 14%（95 件）、4 位が「将来の夢や職業、進路について学び考える取組」で 14%（93 件）となる。この合算結果では、1 位～4 位の項目の回答数に大きな差はなく、これら上位 4 項目が特に重視されたと考えられる。

順位	「学校教育の充実」と「学校外教育の充実」の項目一覧（※同じ項目は1つにまとめ、全12項目とした）	回答数	回答数合計に対する割合
1	金融リテラシー（お金に関する知識や情報、判断力）を学ぶ取組	101	15%
2	学習レベル向上の取組（学習の定着・底上げ、検定取得や受験対策講座など）	99	15%
3	体験学習の充実（自然や文化と触れ合う学習、講演会や鑑賞会の実施など） ※学校内・外合算	95	14%
4	将来の夢や職業、進路について学び考える取組	93	14%
5	国際力（英語など）を高める学習の充実	63	10%
6	授業内容やカリキュラムの工夫（地域の特色や実態に合わせた学習内容、適切な指導スケジュールの作成など）	54	8%
7	道徳や保健など自身の心や身体、周りとの関わり方について学ぶ取組 ※学校内・外合算	51	8%
8	学校科目にない力の向上を目指す事業（考える力やプレゼン力、コミュニケーション力などを伸ばす人財育成など）	33	5%
9	スポーツ活動の充実 ※学校内・外合算	28	4%
10	挑戦する場の提供 ※学校内・外合算	19	3%
11	学校で学ぶ学習の補助事業（テストや受験対策の補助講座など）	14	2%
12	その他 ※学校内・外合わせて	9	1%
	合計	659	100%

【Q10③. 保育所等の受入体制・受入環境の改善に係る回答分析結果】

- ・「学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善」を選択した回答者層では、「待機児童の解消」が 65%（159 件）で最も多く、同設問の他項目と比較しても際立った結果となった。続いて「担当職員の増員・適正人員配置」が 32%（77 件）、「誰でも通園制度の整備や利用サービスの向上」が 28%（69 件）となっている。

Q10③. 学校や保育所・学童などの受入体制・受入環境の改善について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）



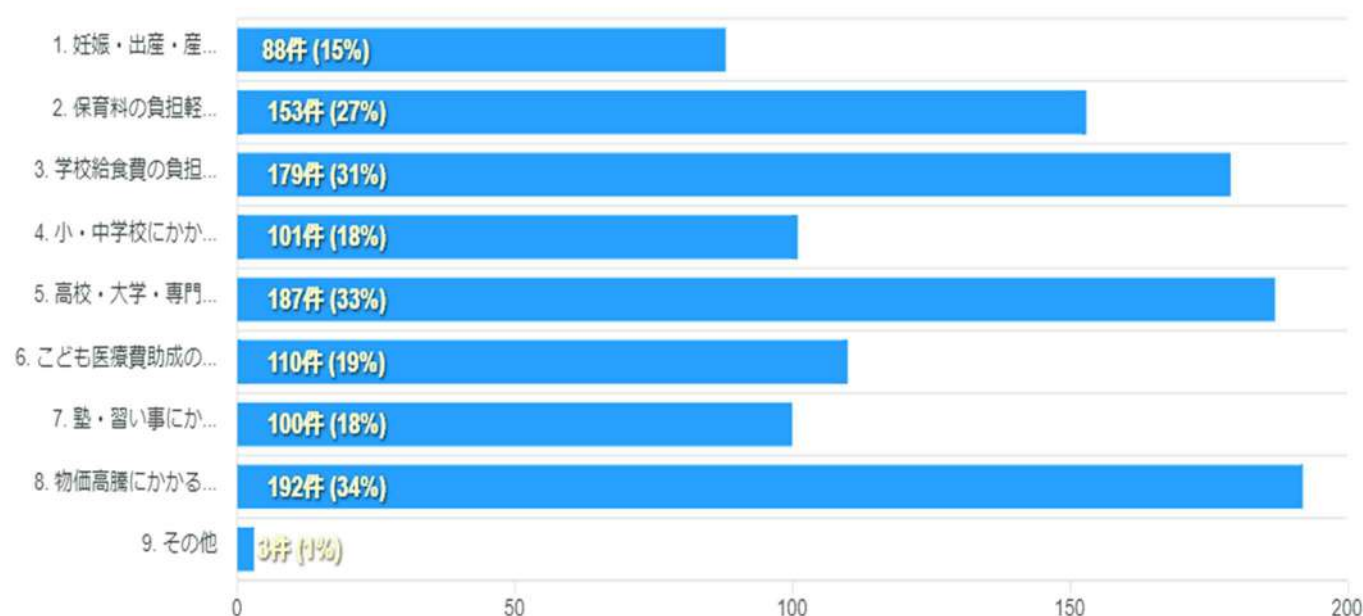
	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(243人) に対する割合
1	待機児童の解消	1	159	65%
2	誰でも通園制度の整備や利用サービスの向上	3	69	28%
3	登校支援や特別支援教育などサポートを必要とする子を受け入れられる場や仕組み作り	5	34	14%
4	担当職員の増員・適正人員配置	2	77	32%
5	こどもが悩みや不安を相談できる場の整備や人員の配置	6	26	11%
6	保護者が普段のこどもの様子や気になる点について確認できる仕組み作り	4	46	19%
7	その他		10	4%
		回答合計	421	

【Q10④. 費用負担の軽減に係る回答分析結果】

- ・「こどもに係る費用の負担軽減（医療費、保育料、給食費、学校教材の負担軽減、給付金支給など）」を選択した回答者層では、「物価高騰にかかる支援・給付金」が34%（192件）、「高校・大学・専門学校などにかかる費用の負担軽減」が33%（187件）、「学校給食費の負担軽減・無償化」が31%（179件）

件)、「保育料の負担軽減(保育園や放課後児童クラブ(学童)利用料など)」が27%(153件)、と高い割合で続いている。

Q10④. こどもに係る費用の負担軽減(医療費、保育料、給食費、学校教材の負担軽減、給付金支給など)について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。(最大2つまで選択可)

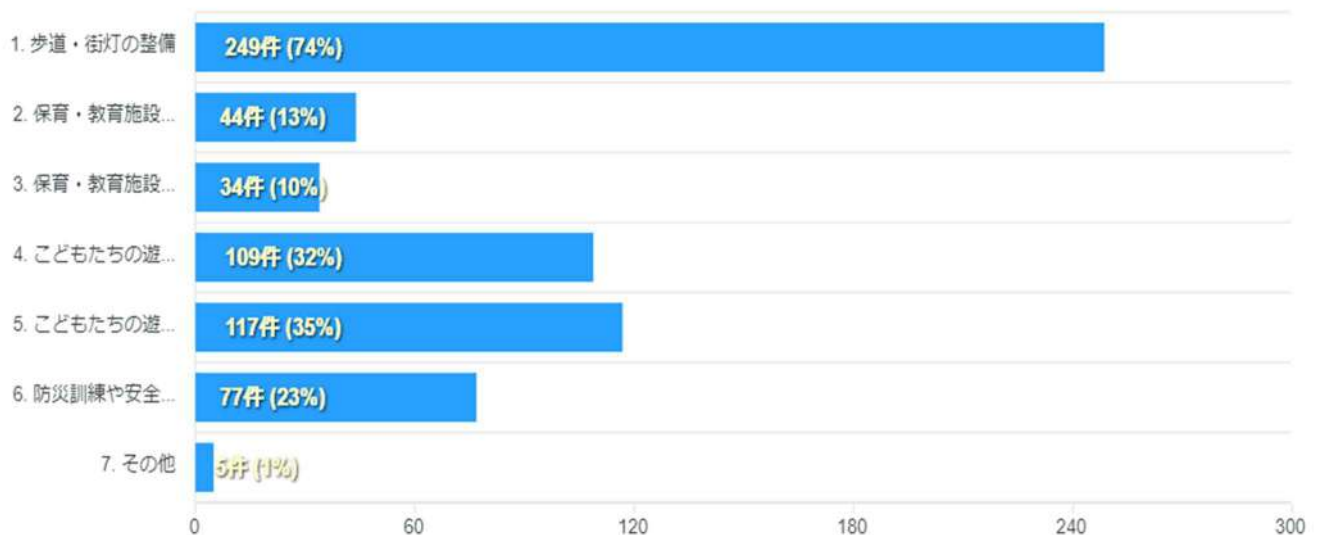


	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(571人) に対する割合
1	妊娠・出産・産後にかかる費用の負担軽減	8	88	15%
2	保育料の負担軽減(保育園や放課後児童クラブ(学童)利用料など)	4	153	27%
3	学校給食費の負担軽減・無償化	3	179	31%
4	小・中学校にかかる費用の負担軽減(学習用具など給食費以外)	6	101	18%
5	高校・大学・専門学校などにかかる費用の負担軽減	2	187	33%
6	こども医療費助成の対象年齢拡大	5	110	19%
7	塾・習い事にかかる費用の負担軽減	7	100	18%
8	物価高騰にかかる支援・給付金	1	192	34%
9	その他		3	1%
		回答合計	1113	

【Q10⑤. 防犯・防災・こどもの安全に係る回答分析結果】

- ・「防犯・防災・こどもの安全に関する取組（歩道・街灯の整備、各施設や公園の整備・防犯対策、安全教育の充実など）」を選択した回答者層では、「歩道・街灯の整備」が74%（249件）で最も多く、同設問の他項目と比較しても際立った結果となった。次いで「こどもたちの遊び場（公園・広場など教育施設外）の防犯対策」35%（117件）、「こどもたちの遊び場（公園・広場など教育施設外）の改修・補修整備」が32%（109件）となっている。
- ・教育施設と教育施設外に関する項目（選択肢2～4）に着目すると、「防犯対策」と「改修・補修整備」どちらの項目においても、教育施設外が2～3倍ほど多い結果となっており、より改善が求められていると考えられる。

Q10⑤. 防犯・防災・こどもの安全に関する取組（歩道・街灯の整備、各施設や公園の整備・防犯対策、安全教育の充実など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）

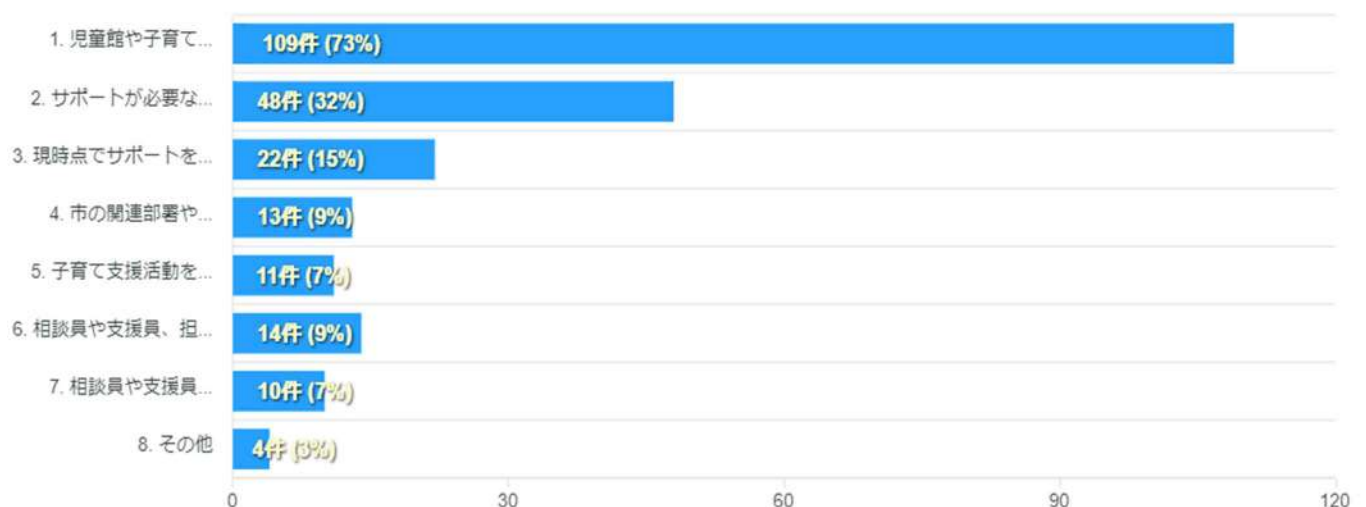


	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(336人) に対する割合
1	歩道・街灯の整備	1	249	74%
2	保育・教育施設(学校、保育所、学童など)の改修・補修整備	5	44	13%
3	保育・教育施設(学校、保育所、学童など)の防犯対策	6	34	10%
4	こどもたちの遊び場(公園・広場など教育施設外)の改修・補修整備	3	109	32%
5	こどもたちの遊び場(公園・広場など教育施設外)の防犯対策	2	117	35%
6	防災訓練や安全教育(日常に潜む危険対策や犯罪被害防止など)に関する学習機会の提供・充実	4	77	23%
7	その他		5	1%
		回答合計	635	

【Q10⑥. 児童福祉に係る回答分析結果】

- ・「児童福祉に関する取組（児童館や子育て支援センター等こどもの居場所の充実、サポートが必要な世帯への支援、各業務の連携など）」を選択した回答者層では、「児童館や子育て支援センター等、こどもが遊び学べる場所の設置や設備内容の充実」が73%（109件）で最も多く、同設問の他項目と比較しても際立った結果となった。次いで「サポートが必要な児童や世帯への支援の継続や充実（障がい・ひとり親・貧困など）」が32%（48件）となっている。

Q10⑥. 児童福祉に関する取組（児童館や子育て支援センター等こどもの居場所の充実、サポートが必要な世帯への支援、各業務の連携など）について、特に力を入れてほしいと思う施策を教えてください。（最大2つまで選択可）

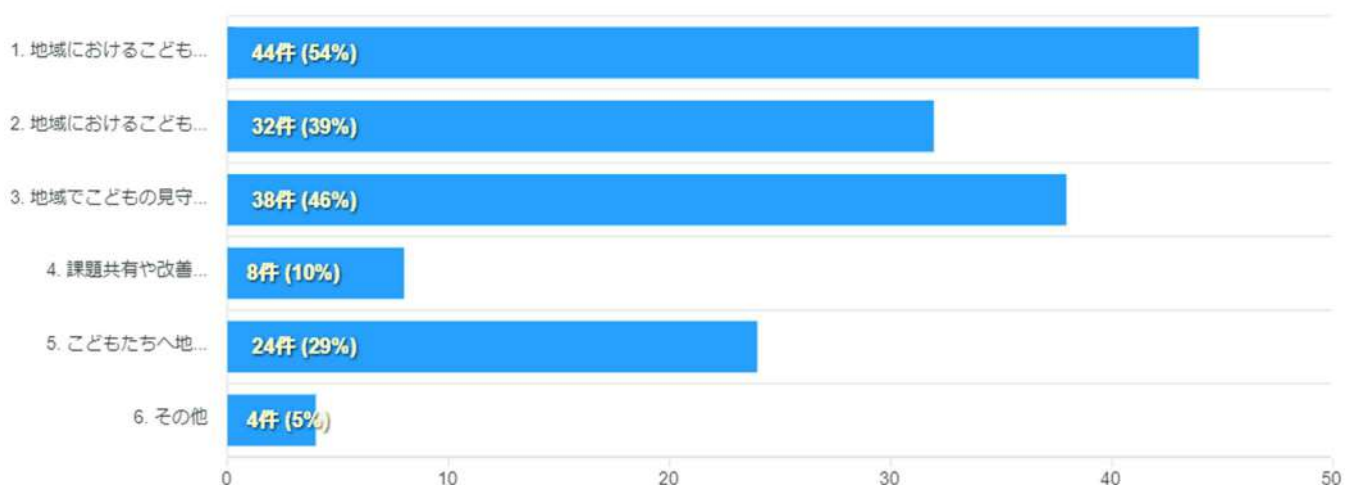


	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(149人) に対する割合
1	児童館や子育て支援センター等、こどもが遊び学べる場所の設置や設備内容の充実	1	109	73%
2	サポートが必要な児童や世帯への支援の継続や充実(障がい・ひとり親・貧困など)	2	48	32%
3	現時点でサポートを受けられていない世帯の相談や総合相談窓口の設置(重層的支援体制整備事業の整備・開始に向けた取組)	3	22	15%
4	市の関連部署や担当課同士の業務連携(関連する手続きの煩雑化防止や、適切なサポートが受けられることを目指す取組)	5	13	9%
5	子育て支援活動を行う団体等との連携	6	11	7%
6	相談員や支援員、担当職員の増員	4	14	9%
7	相談員や支援員、担当職員の知識・スキルの向上	7	10	7%
8	その他		4	3%
		回答合計	231	

【Q10⑦. 地域のつながりに係る回答分析結果】

- ・「地域のつながりに関する取組(地域内でのこどもを守り育てる取組、地域連携、地域文化の継承など)」を選択した回答者層では、「地域におけるこどもの学習支援や居場所づくり」が54%(44件)で最も多く、次いで「地域でこどもの見守りができる環境・協力体制の構築」が46%(38件)となっている。

Q10⑦. 地域のつながりに関する取組(地域内でのこどもを守り育てる取組、地域連携、地域文化の継承など)について、必要だと思う施策を教えてください。(2つまで選択可)

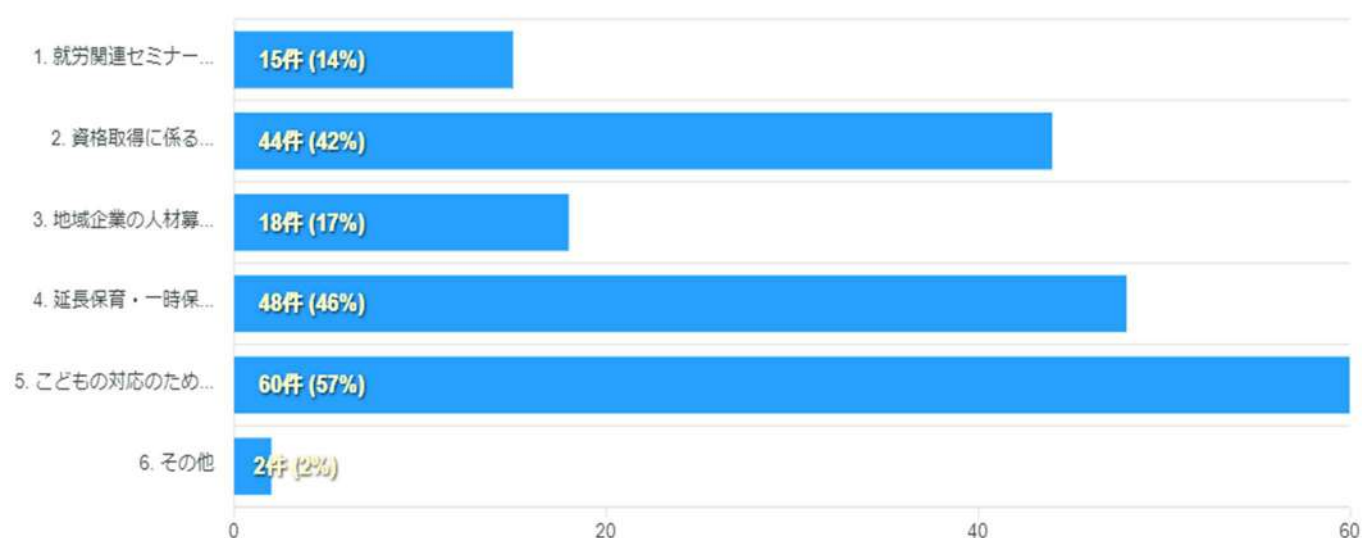


	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(82人) に対する割合
1	地域におけるこどもの学習支援や居場所づくり	1	44	54%
2	地域におけるこどもが参加できるイベント(祭り・地域行事など)の充実	3	32	39%
3	地域でこどもの見守りができる環境・協力体制の構築	2	38	46%
4	課題共有や改善に向けた市・地域住民・地域団体の連携	5	8	10%
5	こどもたちへ地域の伝統・文化の継承を目的とした取組	4	24	29%
6	その他		4	5%
		回答合計	150	

【Q10⑧. 親の就労に係る回答分析結果】

- ・「親の就労に関する取組（就労関連セミナーの開催、資格取得にかかる補助、延長保育や一時保育利用に関する取組など）」を選択した回答者層では、「こどもの対応のために必要な休みが取りやすくなるような意識改革や仕組み作り」が57%（60件）で最も多く、次いで「延長保育・一時保育の利便性を高める整備や利用料の補助」が46%（48件）、「資格取得に係る支援講座や検定料等の補助」42%（44件）となっている。

Q10⑧. 親の就労に関する取組（就労関連セミナーの開催、資格取得にかかる補助、延長保育や一時保育利用に関する取組など）について、必要だと思う施策を教えてください。（2 つまで選択可）

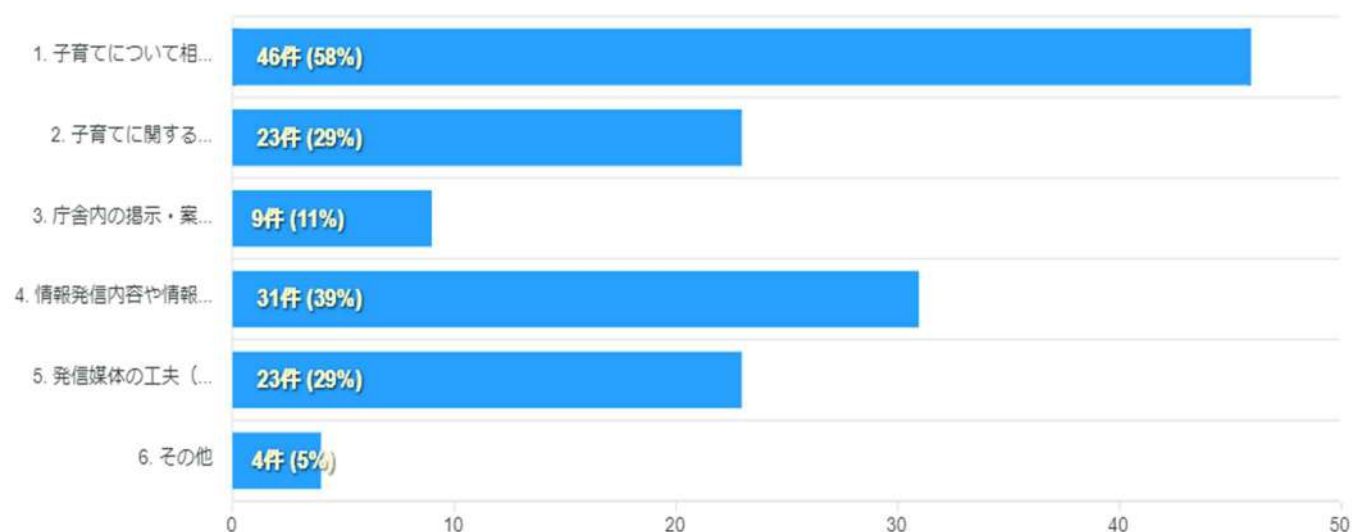


	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(105人) に対する割合
1	就労関連セミナーや講座の開催	5	15	14%
2	資格取得に係る支援講座や検定料等の補助	3	44	42%
3	地域企業の人材募集とマッチング支援	4	18	17%
4	延長保育・一時保育の利便性を高める整備や利用料の補助	2	48	46%
5	こどもの対応のために必要な休みが取りやすくなるような意識改革や仕組み作り	1	60	57%
6	その他		2	2%
		回答合計	187	

【Q10⑨. 相談・情報取得に係る回答分析結果】

- ・「子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善」を選択した回答者層では、「子育てについて相談できる場の充実（支援センターや役所等での相談窓口の設置・対応強化など）」が58%（46件）で最も多く、次いで「情報発信内容や情報アクセシビリティの工夫（簡潔で分かりやすい文章やレイアウトの作成、自身で簡単に必要な情報にアクセスできる工夫など）」が39%（31件）となっている。

Q10⑨. 子育てに関する相談・情報の取得ができる場やサービスの構築・情報伝達の改善について、必要だと思う施策を教えてください。（2 つまで選択可）



	選択項目	順位	回答数 (最大2つまで)	選択者(80人) に対する割合
1	子育てについて相談できる場の充実(支援センターや役所等での相談窓口の設置・対応強化など)	1	46	58%
2	子育てに関する保護者向けの学習機会の充実(子育て関連セミナー・講演会・講座の開催など)	3	23	29%
3	庁舎内の掲示・案内による工夫(確認したい内容や相談場所が見てわかるような工夫など)	5	9	11%
4	情報発信内容や情報アクセシビリティの工夫(簡潔で分かりやすい文章やレイアウトの作成、自身で簡単に必要な情報にアクセスできる工夫など)	2	31	39%
5	発信媒体の工夫(様々な媒体・利用者が多い媒体を利用した告知など)	3	23	29%
6	その他		4	5%
		回答合計	136	

3.) 子どもへの設問

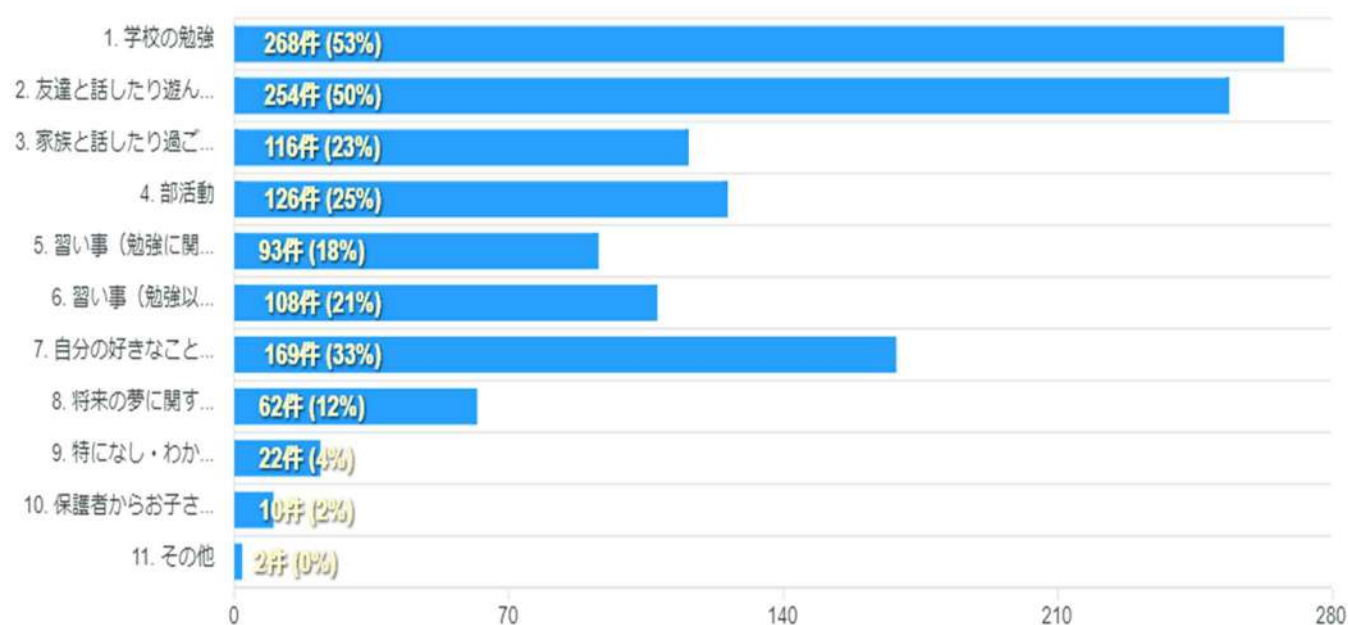
Q11～Q13は、保護者から宛名のお子さん(小学生以上)に確認いただく設問となっている。設問内容は、日々の生活のなかで頑張っていることや大事にしていること、こういうことができたらいいな、あったらいいなと思う希望についての問いである。

※昨年までは「悩んでいることや困っていること」、「将来の夢、なりたいもの、やりたいこと」について自由記述のみで問うものとなっていたが、今年度はより回答がしやすいよう身近な設問内容へ変更し、選択肢の回答を取り入れたことで、回答傾向の分析を取り入れられるようにした。

【Q11.～Q13 回答分析結果】

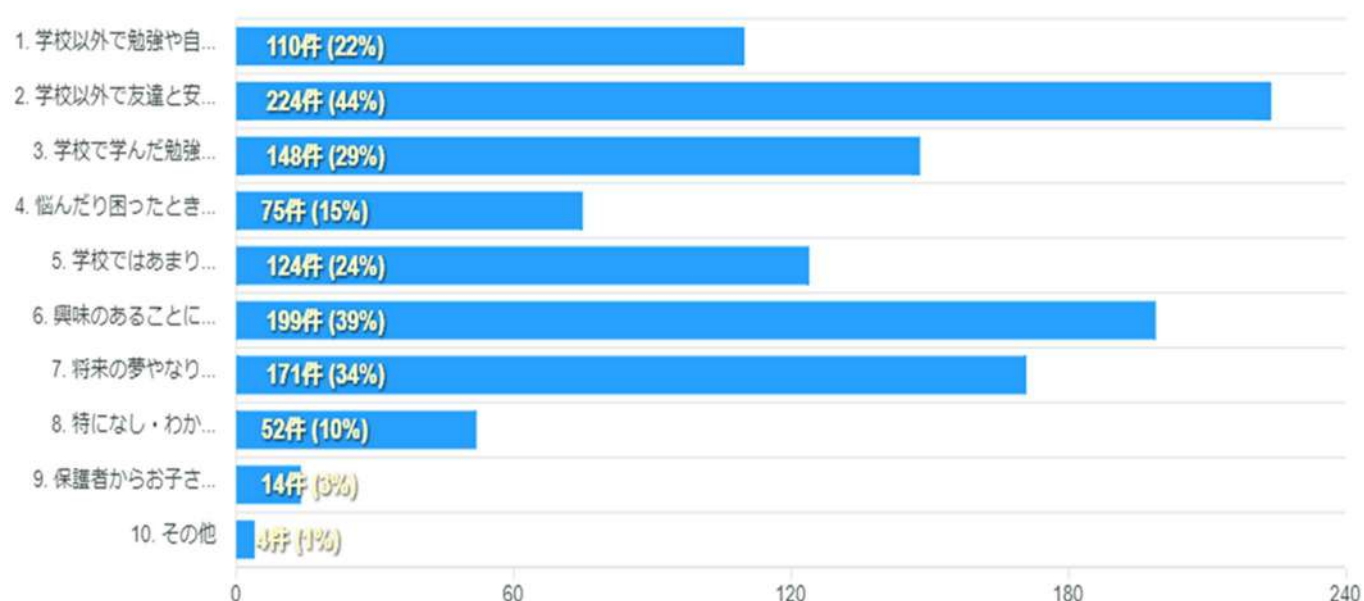
- ・「日々の生活のなかで、特に頑張っていることや大事にしていること」について、特に回答が多かったのは「学校の勉強」の53%(268件)と「友達と話したり遊んだりすること」の50%(254件)で、回答対象の小学生以上(510人)の約半数が選択している結果となっている。次いで、「自分の好きなことや趣味に関すること」が33%(169件)となっている。
- ・「こういうことができたらいいな、あったらいいなと思うこと」について、「学校以外で友達と安心して楽しく過ごせる場所」が44%(224件)で最も多く、次いで「興味のあることについて経験したり挑戦できる機会」が39%(199件)、「将来の夢やなりたい職業について学んだり考えたりできる機会」が34%(171件)となっている。

Q11.【あて名のお子さんに確認してご回答ください】あなたが日々の生活のなかで、特に頑張っていることや大事にしていることはなんですか。（最も当てはまるものを最大3つまで選択）



	選択項目	順位	回答数 (最大3つまで)	回答人数(510人) に対する割合
1	学校の勉強	1	268	53%
2	友達と話したり遊んだりすること	2	254	50%
3	家族と話したり過ごすこと	5	116	23%
4	部活動	4	126	25%
5	習い事（勉強に関すること。例：塾、公文、英会話など）	7	93	18%
6	習い事（勉強以外に関すること。例：ピアノ、スポーツなど）	6	108	21%
7	自分の好きなことや趣味に関すること	3	169	33%
8	将来の夢に関すること	8	62	12%
9	特になし・わからない	9	22	4%
10	保護者からお子さんへの確認が難しい	10	10	2%
11	その他		2	1%以下
		回答合計	1230	

Q12.【あて名のお子さんに確認してご回答ください】こういうことができればいいな、あったらいいなと思うことがあれば教えてください。（最も当てはまるもの最大3つまで選択）



	選択項目	順位	回答数 (最大3つまで)	回答人数(510人) に対する割合
1	学校以外で勉強や自分が取り組みたいことに集中できる場所	6	110	22%
2	学校以外で友達と安心して楽しく過ごせる場所	1	224	44%
3	学校で学んだ勉強でわからなかったところを教えてもらえる場所	4	148	29%
4	悩んだり困ったときに安心して相談できる場所	7	75	15%
5	学校ではあまり学べないことを学べる機会	5	124	24%
6	興味のあることについて経験したり挑戦できる機会	2	199	39%
7	将来の夢やなりたい職業について学んだり考えたりできる機会	3	171	34%
8	特になし・わからない	8	52	10%
9	保護者からお子さんへの確認が難しい	9	14	3%
10	その他		4	1%以下
		回答合計	1121	

クロス集計⑤ 年齢（教育段階）別 Q11 子どもへの設問回答（表8・9参照）

- Q11の「日々の生活のなかで、特に頑張っていることや大事にしていること」について、各教育段階（小学生、中学生、高校生）別で見ると、表9にあるように黄色で示された箇所の割合が高くなっている。例えば小学生において、「学校の勉強」は62%（136件）、「友達と話したり遊んだりすること」は54%（136件）と半数以上が選択している。中学生でも同2項目は高い割合を示しているが、そこに部活動の43%（57件）が続く結果となった。高校生では相対的に「学校の勉強」を選択する割合が下がり、「自分の好きなことや趣味に関すること」40%（50件）、「将来の夢に関すること」29%（36件）の2つの項目の割合が高くなっている。
- どの層においても、「友達と話したり遊んだりすること」の項目は比較的高い割合となっている。
- 高校生では習い事に関する項目の割合が低い結果となっている。

表8-Q11 【各教育段階別 各項目回答数】

	回答人数	学校の勉強	友達と話したり遊んだりすること	家族と話したり過ごすこと	部活動	習い事（勉強に関すること。例：塾、公文、英会話など）	習い事（勉強以外に関すること。例：ピアノ、スポーツなど）	自分の好きなことや趣味に関すること	将来の夢に関すること	特になし・わからない	保護者からお子さんへの確認が難しい
小学生	251	156	136	69	37	54	74	74	12	7	4
中学生	134	66	58	21	57	29	25	45	14	6	2
高校生	125	46	60	26	32	10	9	50	36	9	4

表9-Q11 【各教育段階別 回答人数に対する回答割合】

	回答人数	学校の勉強	友達と話したり遊んだりすること	家族と話したり過ごすこと	部活動	習い事（勉強に関すること。例：塾、公文、英会話など）	習い事（勉強以外に関すること。例：ピアノ、スポーツなど）	自分の好きなことや趣味に関すること	将来の夢に関すること	特になし・わからない	保護者からお子さんへの確認が難しい
小学生	251	62%	54%	27%	15%	22%	29%	29%	5%	3%	2%
中学生	134	49%	43%	16%	43%	22%	19%	34%	10%	4%	1%
高校生	125	37%	48%	21%	26%	8%	7%	40%	29%	7%	3%

クロス集計⑥ 年齢（教育段階）別 Q12 子どもへの設問回答（表 10・11 参照）

- ・Q12の「こういうことができればいいな、あったらいいなと思うこと」について、各教育段階（小学生、中学生、高校生）別で見ると、表 9 にあるように黄色で示された箇所の割合が高くなっている。例えば小学生において、「学校以外で友達と安心して楽しく過ごせる場所」は 60%（150 件）と高い割合を示している。また中学生と高校生では、「興味のあることについて経験したり挑戦できる機会」と「将来の夢やなりたい職業について学んだり考えたりできる機会」の 2 項目の割合が高い結果となった。
- ・中学生では「学校で学んだ勉強でわからなかったところを教えてもらえる場所」は 35%（47 件）と比較的高い割合となった。

表 10 - Q12 【各教育段階別 各項目回答数】

	回答人数	学校以外で勉強や自分 が取り組みたいことに集中 できる場所	学校以外で 友達と安心して 楽しく過ご せる場所	学校で学ん だ勉強でわ からなかった ところを教え てもらえる場 所	悩んだり困っ たときに安心 して相談でき る場所	学校ではあ まり学べない ことを学べる 機会	興味のあるこ とについて経 験したり挑戦 できる機会	将来の夢や なりたい職業 について学ん だり考えたり できる機会	特になし・ わからない	保護者から お子さんへの 確認が難しい
小学生	251	48	150	71	46	63	93	65	17	6
中学生	134	35	45	47	13	35	51	52	16	4
高校生	125	27	29	30	16	26	55	54	19	4

表 11 - Q12 【各教育段階別 回答人数に対する回答割合】

	回答人数	学校以外で勉強や自分 が取り組みたいことに集中 できる場所	学校以外で 友達と安心して 楽しく過ご せる場所	学校で学ん だ勉強でわ からなかった ところを教え てもらえる場 所	悩んだり困っ たときに安心 して相談でき る場所	学校ではあ まり学べない ことを学べる 機会	興味のあるこ とについて経 験したり挑戦 できる機会	将来の夢や なりたい職業 について学ん だり考えたり できる機会	特になし・ わからない	保護者から お子さんへの 確認が難しい
小学生	251	19%	60%	28%	18%	25%	37%	26%	7%	2%
中学生	134	26%	34%	35%	10%	26%	38%	39%	12%	3%
高校生	125	22%	23%	24%	13%	21%	44%	43%	15%	3%

- ・これらQ11とQ12の子どもへの設問回答結果より、小学生では友達と話したり遊んだりすることが重視されており、またそれができる安心な場所が特に望まれていること、中学生・高校生では自身の興味や考えと照らし合わせながら、将来について学んだり考えを深める機会や経験を持つことが特に望まれていると考えられる。